

2023年4月6日 厚木支部 岡村守之

3月24日（金）曇り時々晴れ

例年の如く春の撮影会は桜の開花状況と天候に大きく左右される為、実施時期の判断は幹事の悩みの種となります。今回も直前まで雨天の予報が出ており、好転を神に祈る思いで迎えた当日は曇り時々晴れ。

6名の参加者は秦野駅北口発午前11時3分のバスに乗車し、撮影基点の秦野カルチャーパーク前で下車した。此処からは丹沢の塔ノ岳を源とする水無川沿いに桜並木が続き、7～8分咲の染井吉野の他に菜の花、枝垂れ桜、寒緋桜、等が所々に上流に向かって植えられている。久々に再会した参加者は楽しい会話を交えながら上流部の県立秦野戸川公園を目指して撮影の歩を進めて行った。途中時折日が差して青空混じりとなり少々汗ばんできたが皆元気に歩き続けて約2時間かけて最終目的地の戸川公園に到着した。

ここは神奈川県西部の表丹沢の山々と秦野盆地に囲まれた水無川の地形を活かした36.1haの都市公園で、丹沢の登山口としても知られ多くの登山客が訪れる。最初に目を引いたのは水無川に架かる高さ35m長さ267mの雄大な「風の吊橋」とその前面や周囲を彩る桜、辛夷、レンギョウ等の種々の花々だった。所々でシャッターを切りながら園内の散策コースを廻り、最後に「風の吊橋」のたもとに辿り着いた。此処までに長時間の移動と撮影に夢中になりすっかり空腹を忘れていたが、気が付けば既に午後2時近くになっていた。

「風の吊橋」を渡り切ったところの公園案内所の隣に山小屋風内装の「山カフェ」と言う食堂が有り、そこで遅い昼食休憩をとった。空腹と喉の渇きを思い出したので生ビールと焼き鳥を注文して先ずは乾杯。此処までの疲れが一気に吹っ飛んで皆元気を取り戻し、暫し途絶え気味だった会話が再び活発化してきた。

「山カフェ」での腹ごしらえ後、目の前にある大倉バス停傍の桜の前で記念写真を撮ってから小田急渋沢駅北口行きのバスで本日の反省会場へと移動した。

倉林会員が予約してくれた、渋沢駅近くの山男相手に開いている「いろは食堂」での懇親会が予約時間前にスタートした。

店のおばちゃんお手製の美味しい山菜料理に舌鼓を打ちながら、楽しい会話が弾み反省会は大いに盛り上がった。

心配した天候も支障なく過ごせた幸運な一日をふり返りながら、撮影会の余韻に心行くまで浸った一日でした。

写真は、大倉バス停前で撮影→



参加者：写真左より 田村雅男（厚木支部）、川島克之（川崎支部）、倉林弘行（平塚支部）、岡村守之（厚木支部）、石崎一嘉（厚木支部）、飯島和夫（横浜支部）

水無川～秦野戸川公園



倉林 弘行



川島 克之



田村 雅男



石崎 一嘉



倉林 弘行



飯島 和夫



川島 克之



岡村 守之